バ グ ダ ッド 日 誌 (4月13日)

〇 本日山場

昨日、がR&Rに出発した。「Leave it to me. I won't let you down.(僕に任せて。君をがっかりはさせないよ。)」と
の時と同じように言ってみると、
電話する」とだけ言い残して出発した。電話を頂いた時には、既に私1人には任せておけない重要案件で火の車になっていた。昨日は
により、本日からは
による適時適切な遠隔操作が始った。サマーワ、東京及び米軍等からの調整が目白押しでやってくる。自即、インマル、DSNが鳴りまくり、新着メールが続々と配信される。ノートパソコンを閉めて見えないふりを試みたが、新着メールの受信時には親切に「ピンボーン」と音で教えてくれる。クウェートの班長と連絡を確保して指針を仰ぎ、米軍との調整に駆け回る。緊張と興奮の連続で、このような貴重な体験をさせて頂き、今の境遇に感謝する。

本日最後の(現時点まで)情報要求はコンテナを訪ねてきた米軍中佐 「教えて欲しいことが…1人だけ肩の国旗が違うのがいるのは何だ?」「その件につきましては…」 不在間はこの質問にも私がお答えしましょう。

○ メイジャーメイヤー

サマワへの高官視察に際し、いつもへり調整でお世話になっていたの所に赴く。 が日誌上で何度も紹介した、日本隊のために本当によくしてくださる方だ。本日行ってみると姿は 見えず、受付嬢日く、彼は帰国したという。あまりの驚きに2回確認した。後任者も大変良い方で熱心 に私の英語を聞き理解してくれる。しかし、答えは「No」だ。更に上司の元に行き1から説明をするが、 最終的にはもっと強い口調で「No」だった。

まさに"泣きっ面に蜂"の気分だった。

| 区分 | 内容 |
|---------|--|
| 1 警戒態勢 | パスラ空港 (警戒総勢): |
| 2 特記事項 | (1) |
| | |
| 3 本日の業務 | (1) 情報要求対応 SSR (ISFの戦力化の状況)、MND(SE)の将来計画、IED及びIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例情報収集: (3) 定例会議への出席 : 司令部朝・夕会議、J2・J3・J9認識統一会議 (4) 空路輸送等調整 |